

令和5年度 第4回生坂村ゼロカーボン推進プロジェクト会議録

日 時：令和5年7月27日（木）10時00分

場 所：村民会館講堂

村長より

○上伊那森林組合ペレット工場などの視察について

- ・木質バイオマスの活用は森林整備を兼ねて実施したいと考えているが、視察先はかなり大規模であり、当村が取り組むには課題もあるので、今後検討協議していきたい。

○村民説明会について

- ・昨日で脱炭素事業に関する村民説明会は6地区が終了し、多くの意見や要望をいただいた。心配されている意見は同様な内容だった。回答したところ納得されていると感じているが、更に検討協議をしていく案件も多く、今年中に方向性を出していく。来年当初には再度、説明会を開催する予定なので、時間的に余裕はないが、しっかり検討協議をしていく。

○脱炭素先行地域事業の調査、設計等の委託業務について

- ・一般の公募型で行い、8月2日にプロポーザル審査により業者を決定する。業者決定後は速やかに各案件に対し、当会議で詳細に計画を協議していく。

【報告事項】

○地域エネルギー会社の設立について

- ・7月12日(水)に法務局に届出をした。名称は「株式会社いくさかてらす」であり、定款にある通りの内容で運営していく。

○上伊那森林組合木質バイオマスエネルギー工場及び株式会社DLDの視察について

- ・脱炭素先行地域事業に伴う木質バイオマスの活用による当村の事業構築に向けて、県内での先進事例として、上伊那森林組合のバイオマスエネルギー工場の視察見学を実施した。また、周辺施設として、薪ストーブ関連の販売サービス等を行う株式会社DL Dを併せて見学した。
- ・上伊那森林組合のバイオマスエネルギー工場は、設備によるペレット生産能力が1t/hで、1日約17時間、365日稼働で、従業員11名の交代制で対応している。
- ・上伊那の木質ペレット「ピュア1号」は、上質なペレット材（品質規格A）として、生産されている。
- ・ペレット材の樹種は、ヒノキ、スギが一般的であるが、「ピュア1号」は事例が少ないカラマツとアカマツを使用している。
- ・伊那市での普及支援として、毎年、公共施設20台の設置入替と他に設置補助が、ペレットストーブ購入補助(2/3、上限42万円)、薪ストーブ購入補助(2/3、上限30万円)、ペレットボイラー購入補助(2/3、上限：住宅200万円、事業所300万円)となっている。

○脱炭素事業に関する村民説明会について

- ・前半5地区の内容について、事業に至った経緯、次回の説明会に向けての検討、参加されていない方には8月25日(金)の全戸配布でアンケートを配布したいことを確認した。脱炭素のアンケートだけでなく、各部署の課題等についても意向調査を行いたい。
- ・前半5地区の意見、要望等の内容を確認した。

○生坂村脱炭素先行地域事業計画作成、設備設計等委託業務公募型プロポーザルの実施について

- ・ 8月2日(水)にプロポーザルにかかる事務事業、調査、設計などの審査を行う。業者を決定し、脱炭素先行地域づくり事業の交付決定日以降に、臨時議会をお願いし、契約をする。業者決定後、今後の諸々のスケジュールを示す。
- ・ 夏場の電気料等を調べるなど動かなければならない点や、全ての案件の方向性を年内に決めることは難しいため2年間掛けてスケジュールを決めていくことを、検討。

【意見等】

○ペレット工場等視察の意見・感想

- ・ スケールが大きく質も良いので、脱炭素化のために、山の整備とペレット化の運営・経営を通じて木質バイオマスを活用するには、検討調査が必要。どのように生坂モデルを構築するか。
- ・ 熱意を持って取り組まれていたが、同じ規模は難しいと感じたので、皆で検討していきたい。
- ・ 上伊那森林組合は日本有数の大規模ペレット工場であったため、生坂モデルを構築するには、計画と同規模程度のペレット工場を参考にして検討したい。
- ・ 上伊那森林組合は軌道に乗るまで大変苦労したとのことで、今後行っていく事業の中で、森林整備をどうするかなど村としてのスタンスを決めて調査し、採算が取れるには、薪の宅配も選択肢として検討したい。
- ・ 規模が大きくて凄いこともあり、軌道に乗るまで10年程掛かったとのことで、機械等の準備ができればペレットができるものではない。伊那地域ではペレットストーブの導入が少なく、全国に販路を広げて品質と販売に特化した工場であった。森林整備を主に考えてペレット工場を運営していくためには、山の整備と脱炭素を目指し、山の状況を調査して検討するべきである。

- ・ペレットストーブの補助は、伊那市の中で普及しているか、またどうして普及しないかの理由を調べていただきたい。
- ・森林整備やぶどうの剪定枝を使えるかなど、当村が計画している規模のペレット工場を参考にして、どうしたら経営が成り立つか、森林整備の費用はどの位かなど、具体的になるべく早く詰めていくことが必要である。